

組 合 事 業 の 状 況

1 現況について（R7. 4. 1現在）

(1) 退職手当部門

区分	本 年 度				前 年 度				増 減			
	団体数	職員数(人)			団体数	職員数(人)			団体数	職員数(人)		
		一般職	特別職	計		一般職	特別職	計		一般職	特別職	計
市	9	5,149 (225)	32	5,181	9	5,147 (207)	33	5,180	-	2 (18)	△1	1
町村	12	1,892 (224)	37	1,929	12	1,907 (225)	36	1,943	-	△15 (△1)	1	△14
一部事務 組合等	22	562 (15)	1	563	23	569 (13)	1	570	△1	△7 (2)	-	△7
計	43	7,603 (464)	70	7,673	44	7,623 (445)	70	7,693	△1	△20 (19)	-	△20

※（ ）内の数字は、一般職のうちのフルタイム会計年度任用職員数

(2) 非常勤職員等公務災害補償部門

区分	本年度団体数	前年度団体数	増 減
市	11	11	-
町村	12	12	-
一部事務 組合等	35	36	△1
計	58	59	△1

(3) 福利厚生部門

区分	本 年 度			前 年 度			増 減		
	団体数	組合員数(人)	被扶養者数(人)	団体数	組合員数(人)	被扶養者数(人)	団体数	組合員数(人)	被扶養者数(人)
市	8	6,283 (2,038)	3,957	8	6,331 (2,076)	4,130	-	△48 (△38)	△173
町村	12	2,889 (1,023)	1,527	12	2,807 (932)	1,560	-	82 (91)	△33
一部事務 組合等	20	317 (66)	291	21	316 (63)	305	△1	1 (3)	△14
計	40	9,489 (3,127)	5,775	41	9,454 (3,071)	5,995	△1	35 (56)	△220

※（ ）内の数字は、組合員のうちの「短期組合員等」数

(4) 消防補償等部門

区分	本 年 度		前 年 度		増 減	
	団体数	消防団員定数(人)	団体数	消防団員定数(人)	団体数	消防団員定数(人)
市	15	22,762	15	22,762	-	-
町村	12	4,760	12	4,810	-	△50
計	27	27,522	27	27,572	-	△50

※消防団員定数は、令和6年10月1日現在

2 事務処理状況一覧（R 7 . 4 . 1 現在）

市町村	退手部門	福利部門	非公災部門	消防部門
岡山市				○
倉敷市				○
津山市				○
玉野市			○	○
笠岡市				○
井原市	○		○	○
総社市			○	○
高梁市	○	○	○	○
新見市	○	○	○	○
備前市	○	○	○	○
瀬戸内市	○	○	○	○
赤磐市	○	○	○	○
真庭市	○	○	○	○
美作市	○	○	○	○
浅口市	○	○	○	○
和気町	○	○	○	○
早島町	○	○	○	○
里庄町	○	○	○	○
矢掛町	○	○	○	○
新庄村	○	○	○	○
鏡野町	○	○	○	○
勝央町	○	○	○	○
奈義町	○	○	○	○
西粟倉村	○	○	○	○
久米南町	○	○	○	○
美咲町	○	○	○	○
吉備中央町	○	○	○	○
一部事務組合等	退手部門	福利部門	非公災部門	消防部門
旭東用排水組合	○	○	○	
備南衛生施設組合	○	○	○	
勝英衛生施設組合	○	○	○	
旭川中部衛生施設組合	○	○	○	
和気・赤磐環境衛生施設組合	○	○	○	

岡山市久米南町国民健康保険病院組合	○	○	○	
和気老人ホーム組合	○	○	○	
岡山県市町村税整理組合	○	○	○	
岡山県中部環境施設組合	○	○	○	
津山圏域衛生処理組合			○	
久米老人ホーム組合	○	○	○	
井原地区消防組合	○		○	
勝田郡老人福祉施設組合	○	○	○	
東備消防組合	○	○	○	
柵原吉井特別養護老人ホーム組合	○	○	○	
大正池水利組合			○	
田原用水組合	○	○	○	
柵原、吉井、英田火葬場施設組合	○	○	○	
津山広域事務組合			○	
高梁地域事務組合	○	○	○	
岡山県市町村総合事務組合	○	○	○	
岡山市久米南町衛生施設組合	○	○	○	
津山圏域消防組合	○		○	
岡山県後期高齢者医療広域連合	○	○	○	
岡山県井原地区清掃施設組合			○	
湛井十二箇郷組合			○	
総社広域環境施設組合			○	
備南ボートレース事業組合			○	
津山圏域資源循環施設組合	○	○		
八ヶ郷合同用水組合			○	
円城財産区			○	
新山財産区			○	
津賀財産区			○	
星田財産区			○	
黒木財産区			○	
西水砂財産区			○	

1 5 市 1 2 町村 3 6 組合

【退職手当部門】	9 市 1 2 町村 2 2 組合	[4 3 団体]
【非常勤職員等公務災害補償部門】	1 1 市 1 2 町村 3 5 組合	[5 8 団体]
【福利厚生部門】	8 市 1 2 町村 2 0 組合	[4 0 団体]
【消防補償等部門】	1 5 市 1 2 町村	[2 7 団体]

3 令和6年度退職手当部門実績

(1) 退職手当給付状況

(一般職)

区 分		退職者		退職手当総額(円)	退職手当平均額(円)
		人数(人)	割合(%)		
第4条退職	自己都合	166	35.6	660,814,358	3,980,809
	定年	3	0.7	5,328,298	1,776,099
	任期終了	12	2.6	17,808,494	1,484,041
	会計年度・自己都合	15	3.2	4,083,151	272,210
	会計年度・任期満了	42	9.0	24,107,733	573,994
	計	238	51.1	712,142,034	2,992,193
第5条退職	定年(定年扱い含む)	14	3.0	115,437,521	8,245,537
	応募認定	9	2.0	120,832,559	13,425,840
	公務外死亡	1	0.2	3,017,245	3,017,245
	計	24	5.2	239,287,325	9,970,305
第6条退職	自己都合	1	0.2	17,384,412	17,384,412
	定年(定年扱い等含む)	105	22.5	2,194,475,832	20,899,770
	応募認定	37	7.9	817,154,428	22,085,255
	公務外死亡	3	0.6	63,609,539	21,203,180
	計	146	31.2	3,092,624,211	21,182,358
一般の退職手当 計		408	87.5	4,044,053,570	9,911,896
失業者の退職手当		11	—	2,601,680	236,516
退職手当が支給されない退職 (内 在職期間通算による退職者数)		58 (55)	12.5 (11.8)		
合 計		466	100.0	4,046,655,250	—

・「第4条退職」…自己都合、公務外傷病、勤続11年未満の定年・応募認定・公務外死亡退職等

・「第5条退職」…勤続11年以上25年未満の定年・応募認定・公務外死亡退職等

・「第6条退職」…勤続25年以上の定年・応募認定・公務外死亡、整理、公務上死亡・傷病退職等

注) 失業者の退職手当の人数は、他の退職事由の人数と重複するため合計に算入していない。

※前年度給付額 354人 1,967,128,400円

(特別職)

職 種	退職者		退職手当総額(円)	退職手当平均額(円)
	人数(人)	割合(%)		
市 町 村 長	4	22.2	59,172,500	14,793,125
副 市 町 村 長	4	22.2	18,215,000	4,553,750
教 育 長	10	55.6	37,071,400	3,707,140
企 業 管 理 者 等	0	0.0	0	0
合 計	18	100.0	114,458,900	6,358,828

※前年度給付額 22人 139,889,383円

(2) 一般職の退職事由別、勤続年数別退職手当額(会計年度任用職員は除く。)

事由	年齢 区分 勤続年数	29歳以下		30歳～49歳		50歳以上		計		
		人数	金 額	人数	金 額	人数	金 額	人数	金 額	平均額
※自己都合等	(以上) (未満)	人	円	人	円	人	円	人	円	円
	～ 11	46	22,681,039	41	34,450,287	20	22,272,618	107	79,403,944	742,093
	11 ～ 21			37	136,872,177	5	28,542,321	42	165,414,498	3,938,440
	21 ～ 25			2	18,164,553	2	18,254,012	4	36,418,565	9,104,641
	25 ～			2	26,482,086	24	388,288,171	26	414,770,257	15,952,702
	計	46	22,681,039	82	215,969,103	51	457,357,122	179	696,007,264	3,888,309
定年	～ 11					3	5,328,298	3	5,328,298	1,776,099
	11 ～ 21					7	47,641,993	7	47,641,993	6,805,999
	21 ～ 25					7	67,795,528	7	67,795,528	9,685,075
	25 ～					105	2,194,475,832	105	2,194,475,832	20,899,770
	計					122	2,315,241,651	122	2,315,241,651	18,977,391
応募認定	～ 11									
	11 ～ 21			1	4,463,773	2	23,085,869	3	27,549,642	9,183,214
	21 ～ 25			5	76,849,902	1	16,433,015	6	93,282,917	15,547,153
	25 ～			3	64,149,832	34	753,004,596	37	817,154,428	22,085,255
	計			9	145,463,507	37	792,523,480	46	937,986,987	20,391,021
公務外死亡	～ 11									
	11 ～ 21			1	3,017,245			1	3,017,245	3,017,245
	21 ～ 25									
	25 ～					3	63,609,539	3	63,609,539	21,203,180
	計			1	3,017,245	3	63,609,539	4	66,626,784	16,656,696
合計	～ 11	46	22,681,039	41	34,450,287	23	27,600,916	110	84,732,242	770,293
	11 ～ 21			39	144,353,195	14	99,270,183	53	243,623,378	4,596,668
	21 ～ 25			7	95,014,455	10	102,482,555	17	197,497,010	11,617,471
	25 ～			5	90,631,918	166	3,399,378,138	171	3,490,010,056	20,409,416
	計	46	22,681,039	92	364,449,855	213	3,628,731,792	351	4,015,862,686	11,441,204

※任期終了を含む。

【参考】退職手当平均額の推移

	一般職	特別職	備 考
R元年度	12,044,757円	6,523,717円	
R2年度	12,584,008円	6,640,590円	
R3年度	12,406,157円	7,919,830円	
R4年度	10,359,021円	8,834,135円	満60歳を迎える職員が少なかった年度
R5年度	7,812,707円	6,358,608円	定年年齢引き上げ開始
R6年度	11,441,204円	6,358,828円	定年退職者のいる年度

4 令和6年度非常勤職員等公務災害補償部門実績

(1) 認定件数 9件 ※前年度認定件数 13件

(2) 補償種別給付

補償種別	件数(件)	金額(円)
遺族補償年金	1	700,000
療養補償	10	4,324,762
休業補償	1	436,800
合計	12	5,461,562

※前年度給付額 17件 7,270,536円

(3) 件別補償内容

職 種	補償内容		災害発生状況(被災年月日)	認定種別 認定年月日
	補償種別	金額(円)		
農業委員	遺族補償年金	700,000	農業委員会総会出席途上、自動車で谷川に転落し全身打撲により死亡したもの。 (昭和59年5月17日)	通勤災害 S59.7.16
事務員	療養補償	3,300	自席にて執務中、頭上に設置されている天井埋込型エアコンのフィルターが外れ落下し、頭部を負傷したもの。 (令和5年5月29日)	公務災害 R5.6.15
事務員	療養補償 休業補償	3,638,842 436,800	給油用のポンプをもっていく途中、段差に気付かず膝から落ち、負傷したもの。 (令和6年2月2日)	公務災害 R6.2.26
地域おこし 協力隊	療養補償	56,492	農機具の解体修理工場に向かう途中、路面凍結のため車がスリップし、負傷したもの。 (令和6年2月6日)	公務災害 R6.4.13
鳥獣被害対策 実施隊員	療養補償	285,262	くくり罠にかかったイノシシに止め刺しをする際、イノシシが暴れナイフが左手甲に当たり負傷したもの。 (令和6年2月29日)	公務災害 R6.5.9
パートタイム 会計年度 任用職員	療養補償	45,562	カーブミラーの現地確認中、車のスライドドアに指が挟まり負傷したもの。 (令和6年7月2日)	公務災害 R6.7.16
会計年度任用職員	療養補償	11,198	窓口で接客対応中、右足甲にいたムカデを払いのける際、ムカデに咬まれ負傷したもの。 (令和6年7月29日)	公務災害 R6.8.19

清掃員	療 養 補 償	11, 894	のり面の草取り中、足を滑らせて前かがみに転倒し負傷したもの。 (令和6年9月5日)	公務災害 R6. 9. 19
事務員	療 養 補 償	9, 950	野外での被害調査中、マダニが服に付き、帰宅後、自席で咬まれ、負傷したもの。 (令和6年9月4日)	公務災害 R6. 10. 9
主任介護支援専門員	療 養 補 償	252, 322	スロープにあるフロアマットに引っ掛かり転倒し、負傷したもの。 (令和6年10月3日)	公務災害 R6. 11. 14
鳥獣被害対策実施隊員	療 養 補 償	—	箱罠にかかったイノシシを電気による止め刺しをするため柵の錆をブラシで落としていたところ、暴れたイノシシがブラシを突き上げ負傷したもの。 (令和6年11月27日)	公務災害 R6. 12. 24
作業員	療 養 補 償	9, 940	原付で通勤中、後続車が来たため退避場所に入ろうとしたところ、前輪が側溝にはまり転倒し、負傷したもの。 (令和7年1月6日)	通勤災害 R7. 1. 23
作業員	療 養 補 償	—	落葉等の収集作業中、トラックの荷台で作業をしていたところ、車が動き、荷台から飛び降り尻もちをついた反動で後頭部を負傷したもの。 (令和7年1月30日)	公務災害 R7. 3. 25
合 計		5, 461, 562		

※金額の記載のないものは、令和7年度以降に補償を行う。

5 令和6年度福利厚生部門実績

(1) 負担金事業

区 分		予算額 A(円)	決算額 B(円)	比 較(円)	比率 B/A(%)
給 付	成人病検診補助金	47,570,000	41,986,001	5,583,999	88.3
	保養施設利用補助金	3,735,000	2,202,500	1,532,500	59.0
	文化教養補助金	200,000	120,800	79,200	60.4
	旧脱退還付金	43,000,000	45,095,814	△ 2,095,814	104.9
	小 計	94,505,000	89,405,115	5,099,885	94.6
事 業	体育大会費	3,775,000	2,885,312	889,688	76.4
	文化体育振興事業等	23,392,000	20,346,029	3,045,971	87.0
	表彰費	19,500,000	18,340,000	1,160,000	94.1
	小 計	46,667,000	41,571,341	5,095,659	89.1
合 計		141,172,000	130,976,456	10,195,544	92.8

※前年度負担金事業 給付:61,335,510円 事業:39,199,967円 合計:100,535,477円

(2) 拠出金事業

区 分		予算額 A(円)	決算額 B(円)	比 較(円)	比率 B/A(%)
給 付	医療補助金	102,250,000	99,912,600	2,337,400	97.7
	家族医療補助金	26,000,000	23,236,900	2,763,100	89.4
	脱退還付金等	47,100,000	54,626,951	△ 7,526,951	116.0
	結婚祝金	8,100,000	6,330,000	1,770,000	78.1
	弔 慰 金	7,800,000	4,250,000	3,550,000	54.5
	災害見舞金	2,300,000	0	2,300,000	0.0
	出産祝金	8,700,000	7,240,000	1,460,000	83.2
	入学祝金	16,900,000	15,100,000	1,800,000	89.3
	銀婚祝金	5,700,000	6,600,000	△ 900,000	115.8
	就職祝金	30,000	0	30,000	0.0
	介護休業補助金	620,000	665,600	△ 45,600	107.4
	卒業祝金	350,000	330,000	20,000	94.3
	親睦旅行助成	2,850,000	2,795,000	55,000	98.1
	合 計	228,700,000	221,087,051	7,612,949	96.7

※前年度拠出金事業 203,235,112円

(3) 貸付

区 分	予算額 A(円)	決算額 B(円)	比 較(円)	比率 B/A(%)
貸 付 金	650,000,000	325,000,000	325,000,000	50.0

※前年度貸付事業 425,700,000円

6 令和6年度消防補償等部門実績

(1) 消防団員等公務災害補償支払

補償種別	消防団員		民間協力者		合 計	
	件数(件)	金 額(円)	件数(件)	金 額(円)	件数(件)	金 額(円)
療 養 補 償	65	11,006,554	0	0	65	11,006,554
休 業 補 償	3	760,880	0	0	3	760,880
障 害 補 償	1	398,372	0	0	1	398,372
障 害 補 償 年 金	12	3,544,183	0	0	12	3,544,183
介 護 補 償	3	480,400	0	0	3	480,400
遺 族 補 償 年 金	49	14,952,055	24	8,294,699	73	23,246,754
合 計	133	31,142,444	24	8,294,699	157	39,437,143

※前年度支払額 177 件 33,629,838 円

(2) 発生状況及び認定件数

発生状況		認定件数(件)
非 常 時	建物火災消火活動	2
	林野火災消火活動	5
平 常 時	操法訓練	18
	点検整備	5
	警戒・警備、捜索・救助	4
	レクリエーション	2
	出初式	1
合 計		37

【参考】消防基金が実施する福祉事業等

種別	件数(件)	金 額(円)
休 業 援 護 金	3	253,591
遺族特別給付金	49	3,107,822
障害特別給付金	12	862,100
自 動 車 見 舞 金	3	300,000
障害特別給付金(一時金)	1	200,000
障害特別援護金	1	1,050,000
障害特別支給金	1	339,674
合 計	70	6,113,187

※前年度給付額 74 件 4,767,930 円

※前年度認定件数 非常時 9 件 平常時 28 件 合計 37 件

(3) 消防団員退職報償金支払

市町村名	退職者数(人)	支払額(千円)	市町村名	退職者数(人)	支払額(千円)
岡 山 市	127	60,037	浅 口 市	44	18,853
倉 敷 市	67	30,622	和 気 町	28	15,226
津 山 市	70	32,555	早 島 町	6	2,755
玉 野 市	23	11,598	里 庄 町	10	3,162
笠 岡 市	35	15,869	矢 掛 町	12	4,466
井 原 市	58	20,420	新 庄 村	8	4,261
総 社 市	36	18,174	鏡 野 町	31	14,706
高 梁 市	29	10,952	勝 央 町	7	3,688
新 見 市	35	15,805	奈 義 町	11	4,073
備 前 市	34	14,435	西 栗 倉 村	4	800
瀬 戸 内 市	11	5,127	久 米 南 町	13	6,470
赤 磐 市	47	23,732	美 咲 町	3	1,281
真 庭 市	253	110,131	吉備中央町	18	6,058
美 作 市	105	51,349	計	1,125	506,605

※前年度支払額 1,176 人 539,901 千円

(4) 令和 6 年度公務災害認定者一覧

番号	階級	年齢	活動態様	災害発生状況の概要	傷 病 名
1	団員	35	訓練	小型ポンプ操法の 1 番員として訓練中、火点からポンプ側へ走っていた際、足に痛みを感じ転倒し、負傷したもの。	右太腿肉離れ
2	副部長	38	訓練	ポンプ車操法の 2 番員として訓練中、スリップして転倒し、負傷したもの。	両膝関節打撲
3	分団長	56	消火	建物火災現場に到着後、走ってホースを延長していたところ他のホースに躓き転倒し、負傷したもの。	脊髄損傷
4	団員	30	訓練	小型ポンプ操法の指揮者として訓練中、筒先とホースを持ち走り出した際、足に激痛が走り転倒し、負傷したもの。	右足大腿二頭筋 筋挫傷
5	団員	44	訓練	操法大会において、小型ポンプ操法の 1 番員としてホースのよじれを直すため足を曲げた際、左足脛脛を負傷したもの。	左足脛脛肉離れ
6	部長	61	点検・整備	大会終了後、資機材の清掃作業中操作を誤り、放水圧が一時的に上昇したため、筒先員が筒先を保持できず近くにいた団員に接触し負傷させたもの。	左大腿部切創、 左大腿部打撲
7	班長	46	訓練	操法訓練中、指揮者としてホースを担いで走っていた際、左足脛脛を負傷したもの。	左足脛脛肉離れ
8	団員	34	訓練	小型ポンプ操法の 2 番員として訓練中、折膝をした瞬間左膝に強い痛みを感じ、負傷したもの。	左膝内側半月板損傷
9	団員	31	訓練	小型ポンプ操法の指揮者として訓練中、ホースを担いで走っていた際、右足を負傷したもの。	右足太腿肉離れ
10	団員	53	レクリエーション	ソフトボール大会中、二塁へ帰塁しようとした際、右足の脛脛を負傷したもの。	右下腿挫傷
11	班長	56	レクリエーション	ソフトボール大会中、三塁から本塁へ走っていた際、右足の脛脛を負傷したもの。	右下腿肉離れ
12	部長	46	訓練	ポンプ車操法の指揮者として訓練中、ホースを担いで走っていたところ右大腿部を負傷したもの。	右大腿筋二頭筋 挫傷
13	班長	35	訓練	小型ポンプ操法の 1 番員として訓練中、ホースを担いで走っている際、右下腿部を負傷したもの。	右下腿挫傷
14	団員	65	点検・整備	資機材の移動中、トラックから投光器を下ろす際、投光器が頭部に当たり負傷したもの。	頭部外傷
15	団員	22	訓練	小型ポンプ操法の 1 番員として訓練中、4 本目の通し訓練終了直後に塞ぎ込み立ち上がれなくなったもの。	熱中症
16	団員	50	点検・整備	乾燥塔にあったホースの収納作業中、蜂に襲われ後ずさりした際、足元にあったホースに引っ掛かり転倒し、負傷したもの。	右肘骨折
17	団員	49	消火	林野火災の消火活動中、炎天下のため気分が悪くなり救急搬送されたもの。	熱中症

18	班長	49	消火	林野火災の消火活動中、ホースを持って急な坂を上がっていた際、足が滑り踏ん張ったところ左足首を捻り負傷したもの。	左足首靱帯損傷
19	班長	45	点検・整備	機庫の屋根に蜂の巣を発見し、消防車両上部より殺虫剤を噴射した際、蜂に襲われ、慌てて飛び降り、両足を負傷したもの。	右踵骨骨折、左足足関節骨折
20	団員	51	警戒・警備	打ち上げ花火の火災対策として周辺の放水作業中、突然蜂が飛んできて右手小指を刺され、負傷したもの。	蜂刺傷
21	団員	39	警戒・警備	打ち上げ花火の火災対策として周辺の放水作業中、突然蜂が飛んできて背中を刺され、負傷したもの。	蜂刺傷
22	団員	39	警戒・警備	打ち上げ花火の火災対策として周辺の放水作業中、突然蜂が飛んできて左手、左足脛を刺され、負傷したもの。	蜂刺傷
23	班長	36	消火	建物火災の消火活動中、川から中継送水するため小型動力ポンプを河川に設置していた際、足を滑らせ転倒し負傷したもの。	右足半月板損傷
24	団員	25	訓練	操法の指揮者として訓練中、ホースを延長した際、急な減速を行ったため左股関節に負荷がかかり負傷したもの。	左股関節捻挫
25	班長	36	訓練	小型ポンプ操法の指揮者として訓練中、筒先を持って火点へ走ろうとした際、右足を負傷したもの。	右足脛腓骨離れ
26	班長	43	点検・整備	消防水利の維持管理のための草刈り中、草刈り機の操作を誤り左足に刃が接触し負傷したもの。	左母趾末節骨開放骨折、左長母趾伸筋腱断裂、左示趾挫創
27	団員	45	訓練	ポンプ車操法の指揮者として訓練中、火点へ走り出した際に転倒し、負傷したもの。	右下腿三頭筋損傷
28	班長	45	捜索・救助	行方不明者の捜索活動中、山林の下り斜面で中程度の石を踏んでしまいその反動で跳ねた石が脛脛に当たり負傷したもの。	左腓腹筋挫傷
29	部長	42	消火	林野火災現場に到着後、消火栓ボックスを開けた際に蓋が左足の甲に落ち負傷したもの。	左足打撲傷、左足挫傷
30	副分団長	52	出初式	出初式式典終了後、送迎バスに乗るため駐車場を歩いていた際、車輪止めに躓いて転倒し負傷したもの。	左肋軟骨損傷、左人差し指打撲
31	班長	54	消火	林野火災現場で、クーラーボックスを抱え下山中、ぬかるんだ地面で足を滑らせ転倒し、左手首を負傷したもの。	左手首捻挫
32	団員	48	消火	林野火災の消火活動中、ぬかるんだ地面で足を滑らせ前のめりに転倒し、胸を強打し負傷したもの。	胸部打撲
33	団員	30	訓練	小型ポンプ操法の2番員として訓練中、ホースを展張するためホースを持って立ち上がった際、腰を負傷したもの。	筋膜性腰痛症
34	団員	30	訓練	放水訓練実施中、濡れた草木に足を滑らせ、筒先を保持したまま顔面から転倒し、負傷したもの。	左眼刺創

35	団員	43	訓練	小型ポンプ操法の 2 番員として訓練中、とび口を持って火点まで走っていた際、右足を負傷したものの。	右脛脛肉離れ
36	団員	36	訓練	小型ポンプ操法の 1 番員として訓練中、ホースを持って走っていた際、左足を負傷したものの。	左大腿部筋肉損傷
37	団員	43	訓練	小型ポンプ操法の 1 番員を指導中、1 線延長の動作の手本を見せていた際、バランスを崩し左中指をついてしまい負傷したものの。	左中指腱性マレット指

※番号は、認定日順